

■仕様

| 項目 | V2H-充放電器 DNEVC-SD6075 | |
|--------------------------|---|-------------------------------------|
| ユニット | パワーユニット(据置、壁掛) | プラグホルダ |
| 外形寸法 (横×高さ×奥行) | W 470mm×H 620mm×D 200mm (突起部含まず) | W 160mm×H 355mm×D 160mm (突起部含まず) |
| 本体質量 | 26.2kg | 7.9 kg |
| 定格電圧、周波数 | AC202V、50/60Hz(連系/自立運転時) | |
| 充電時 AC入力電力 (車両への充電時) | 6kW未満※1 | |
| 放電時 AC出力電力 (車両からの放電時) | 連系時:6kW未満 自立時:6.0kVA未満(片相3kVA未満)※2 | |
| 防塵防水性能 | IP55相当 | |
| 設置環境 | 屋外、耐塩仕様 (重塩害対応品もオプションで設定)※3 | |
| 冷却方式 | 自然空冷 | |
| 使用周囲温度 | -20~+50℃ | |
| 停電時の操作 | コネクタロック中:操作不要 コネクタロックされていない場合:放電開始のための起動操作が必要。 車両によっては12Vケーブル接続操作が必要。 | |
| リモート操作 | 可能(自宅Wi-Fiの届く範囲内) | |
| 価格 | オープン価格 | |

- ※1:契約電力や家庭での電力使用状況、及び車両の充電率によって異なります。
 ※2:車両の状況により電力が低下する場合があります。
 ※3:塩害環境下での設置については諸条件がございます。詳しくは販売店、または工事店にご確認ください。
 ●一般社団法人電動車両電力供給システム協議会 (EVPOSSA) 電動自動車用充電システムガイドライン V2HガイドラインDC版2.1.1版に準拠。
 ●販売、施工については条件がございます。詳しくは販売店、または工事店までお問合せください。

■寸法



⚠️ 安全に関するご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みください。ご不明な点は予めお買い上げの販売店または工事店にご相談のうえ、正しくご使用ください。
- 人命に直接かかわる医療機器などへの接続は絶対にしないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー及び植込み型除細動器 (ICD) を使用している方は、充電中、給電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので使用しないでください。本製品を操作する必要がある場合は、他の方へお願いしてください。詳細は一般社団法人日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。充電中、給電中の本製品に近づかないでください。なお、近づいてしまった場合には、立ち止まらずに速やかに離れてください。
- 本機を本来の充放電以外の用途に使用することは危険ですので行わないでください。

●このカタログの記載内容は2024年3月現在のものです。●仕様・外観は予告なしに変更することがあります。●商品の色は印刷の関係で若干異なる場合がありますので、ご了承ください。

製造元 **株式会社デンソー**
 本社 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1

販売元 **株式会社デンソーソリューション**
 本社 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1

■本カタログに関するお問い合わせは

お客様窓口 **03-6367-3808**

受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00 (デンソーソリューション指定休業日を除く)

お客様窓口における個人情報のお取り扱いについて
 当社及び業務を委託する協力会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容をアフターサービス等の確認や対応のために利用し、その記録を残すことがあります。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供致しません。

●ご用命は、販売店へ



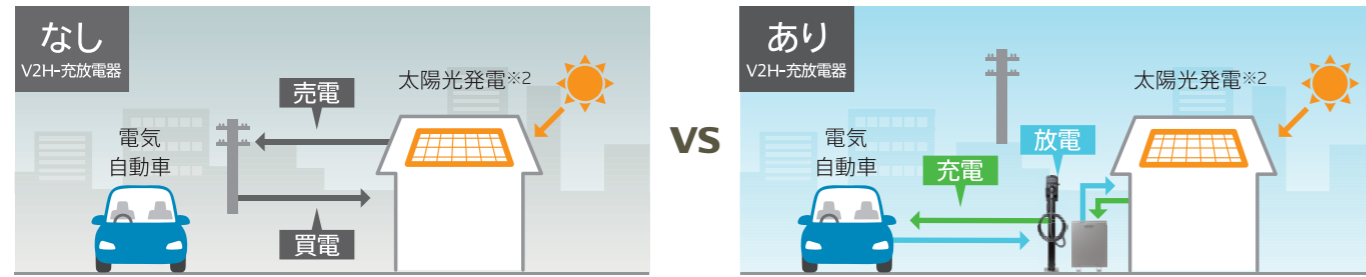
いつもの電気をかしこく使い
 もしもの災害時にも快適な暮らし

V2H-充放電器

V2H-充放電器のある生活のうれしさ

かしこく“貯める”、“つかう”で購入する電気量を抑える

「V2H」とは「Vehicle to Home」の略で、電気自動車を充電するだけでなく、貯めた電気をご家庭で使用する仕組みです。また、太陽光発電のあるご家庭にV2H-充放電器を設置すると、太陽光発電で作った電気をご家庭で使用し、余った電力をV2H-充放電器を使って電気自動車へ充電、貯めた電気をご家庭の家電製品での使用※1、電気自動車の走行へ使用することで購入する電気量を抑えます。

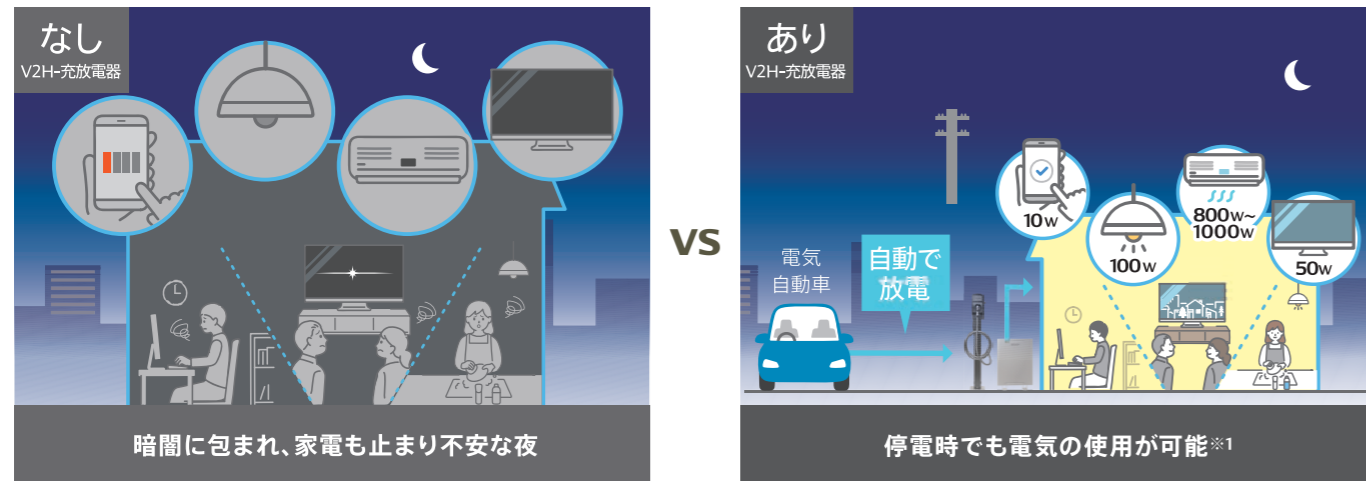


余剰電力を電力会社へ販売

余剰電力の有効活用で
購入する電気量を抑える※3※4

停電時も電気が使えて普段と変わらない暮らしが可能

V2H-充放電器と電気自動車があれば、停電時でも電気を使うことができます。電気自動車からの供給可能電力量が40kWh、家庭で使う1日の使用電力量が10kWhであれば、約3~4日間※5、普段と近い生活を送ることができます。



停電を感知すると放電を開始：自動切替機能※6

突然の停電でも面倒な操作をすることなく自動で放電を開始し、電気が使えるようになります。

※1: V2H-充放電器は家庭の交流を直流に変換し車両へ充電、車両の直流を交流に変換し家庭へ放電を行う電気機器です。直流から交流、交流から直流への変換時には変換ロスが発生致します。また、充電時には、家電製品同様にV2H-充放電器本体や車両側で一定の内部消費電力が発生します。
 ※2: 気象や季節などの状況に応じて太陽光発電量やご家庭の消費電力が変わります。
 ※3: 電気自動車/PHVが接続されていることを想定しています。
 ※4: 経済効果を保証するものではありません。
 ※5: 実際の供給可能電力量、使用電力量は電気自動車の残存電力量、使用する電化製品の電力消費量によって異なります。
 ※6: 停電発生時に、電気自動車にV2H-充放電器の充放電コネクタが接続され、ロックされている状態であることが必要です。

新型V2H-充放電器の特長

据置・壁掛を選べるセパレートタイプ、設置の自由度が向上

パワーユニットとプラグホルダをセパレート化。駐車スペースに適した組み合わせで設置できます。



生活スタイルに合わせて、手間なく簡単に自動化、タイマー設定

| | | | | | | |
|-------------|----------------|--------|-----------------|---------|------|-------|
| 生活スタイルのイメージ | ・電気自動車(通勤車)を保有 | タイマー設定 | タイマー1: 充電運転 | 24時~6時 | 曜日設定 | 月~木・日 |
| | ・太陽光発電を保有 | | タイマー2: 放電運転 | 19時~22時 | 曜日設定 | 月~日 |
| | ・夜間割引の電力契約 | | タイマー3: グリーンタイマー | 7時~16時 | 曜日設定 | 土・日 |

| | ① 6:00~7:00 朝食 | ② 7:00~16:00 外出 | ③ 19:00~22:00 夕食・だんらん | ④ 24:00~6:00 就寝 |
|----|----------------|-----------------|-----------------------|-----------------|
| 平日 | 使用電力: 電力会社 | 太陽光発電 | 電気自動車 | 電力会社 |
| | 電気自動車: 充電 | 不在 | 放電 | 充電 |
| | バッテリー: 満充電 | 不在 | 電気自動車の電力をお家へ放電 | 満充電 |
| | | | | |
| 休日 | 使用電力: 電力会社 | 太陽光発電 | 電気自動車 | 電力会社 |
| | 電気自動車: 充電 | 不足時に放電 | 放電 | 充電 |
| | バッテリー: 待機中 | 日中に貯めた電力を充電 | 電気自動車の電力をお家へ放電※7※8 | 満充電 |
| | | | | |

グリーンタイマー

設定した曜日、時間帯に太陽光発電の余剰電力が発生したときに余剰電力を電気自動車に充電し、家庭の消費電力が多くなったときは家庭に放電する機能です。

倍速充電でスピード充電

6kW未満の出力性能により、200V/3kW出力のコンセントタイプ充電設備よりも短時間で、充電することができます。※9

カンタン!スマホ操作

家の中からでも充電操作ができます。

※7: 昼間の太陽光の発電量により条件も異なるため、使用せずに翌日の走行分として利用することもできます。
 ※8: 充電できる電力量は宅内での消費電力量および各家庭の太陽光発電の発電出力及び天候・時間帯などの発電状況により異なります。また、契約中の電力プランや車両の状態によっては、自動で充電や放電を行わない場合があります。
 ※9: 200V普通充電設備:3kWと本製品の充電出力電力との比較。但し、契約電力や家庭での電力使用状況、及び車両の充電率によって異なります。